

一般社団法人 埼玉私保連



# 広報

No.144

R2. 9月

発行



射的あそび  
ねらいをつけて～パンツ!!

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

# 埼玉県私立保育園連盟

# 予対報告



9月2日(水)に三団体の令和3年度予算要望が行われ、当連盟からは会長、副会長が出席し、県担当課と面談しました。(県補助のアレルギー等対応特別給食提供事業について、国の栄養士加算がついたことで検討をしているとの話が出ました。)

次いで9月11日(金)には当連盟の令和3年度保育関係予算要望について県担当課との面談が行われました。コロナ禍の影響で例年の会員参加ができないことから文書回答や(報告書作成のため)面談の録音をお願いし

たのですが、いずれも許可が得られませんでした。

面談当日は会長挨拶ののち全項目の一括回答をいただきましたので以下要旨をお伝えします。

①乳児途中入所促進事業の入所児数0の場合、対象にならない理由を求めたところ、この場合事業を実施していないことになるとの回答でした。連盟としては是正を求め、それに対しては改めてよく検証することとしました。

②県としての処遇改善を要望したところ、公定価格の見直し・地域区分の設定方法について知事会から国に既に要望書を出しているとのこと。しかし県での新たな補助は難しく、宿舍借り上げ・保育士復職貸付金制度を活用してほしいとのことでした。



③他の県独自の補助事業についても、改善充実は難しく、やはり保育補助者雇上事業(要件緩和で既に10市が利用)を活用してほしいとの回答でしたので、要望書が現場の切実な声の集約であること、討議を重ねたう

えでの提出であることをよく伝えてきました。

④コロナウイルス関連では感染予防策を講じながら懸命に対応している保育士にも県から慰労金を出せないものかとお伝えしました。



(別件ですが、保育所調書に「非常勤保育士0.1」が追加された件を質問しました。これは新たな加配ではなく、今までの「定員90人以下保育所1人加算」に入っていた「非常勤保育士0.1」分を別枠にして施設事務の簡略化を図ったとの説明でした。)

以上 (予対部)

# 施設訪問ごんじちは

訪問先(狭山市)

社会福祉法人いるま保育園

いるまごども園

園長 小川勝利先生



新生なつたいるまごども園にお伺いしました。コロナ騒動で大変な折、取材をお受けいただきましたが、対策も徹底しており入口での厳重チェックを受けてお邪魔しました。園舎内は元気でにこやかな子どもたちが出迎えてくれました。

伝統を大事にしながら新制度へ

もともとの歴史は古く、昭和33年いるま幼児学級として狭山の茶づく

り就労のためのお子さんを預かり、昭和46年には社会福祉法人立のいるま保育園として定員80名の保育を始めました。平成4年に現在の場所に移築。以来地域の重要な子育て拠点として長くこの地での保育を担ってきましたが、さらに令和に入り、いるまごども園に発展改称しました。

平成18年には担任制・学年別(生年月日別)の保育を見直し環境設定型の保育に大きく転換しました。きっかけの一つ自園の運動会のエピソードをお聞きました。

くみ体操中にやる気をなくし寝てしまった子どもにも、果たして課題を頑張らせることに重点を



置く保育は子どもたちの発達に相応しいのか。運動会の在り方も一糸乱れぬマスを発表するのではなく、人類が移動する手段を獲得していく発達過程を「かけっこ」として保護者の皆さんに見てもらい、また様々な健康領域の発達を親御さんとともに喜び合う場にできないものかと考えました。同じように生活発表会も表現や言葉をとおして子どもたち自身が楽しむ「お楽しみ会」という場になりました。

園長先生の教育に関するお話は大変興味深いものでした。例えばホモサピエンス10万年の歴史に受け継がれてきた子育てには普遍的なものがあるはず。人類の進化、生物の発達過程におけるエッセンスを抜き出し、今の子育てに生かしていくような、そんなユニークなお話もされました。

今までの保育や教育は、ともすれば均一詰め込みになりがちです。そんな保育を見直し、保育士の役割をあくまで環境を用意するところに要点を置き、子どもたちの持つ力





を引き出す手助け、個性や得意なことを伸ばしてあげることが目標になりました。発達障害の子が仲間集団の中で一緒に生活し、一緒に成長する姿も見えてきました。

少子化、地域子育て力が低下している現在、このいるまこども園でしかできない経験をさせた、そんな園長先生、現場の先生方の想いは強く様々な考えを総合し、認定こども園として、いるまこども園の保育は成り立っています。乳幼児施設を福祉と教育で区分けする風潮もありますが、いるまこども園は認定こども園になることで保育教育をカリキュラムとして発信することを目指しています。

導入時は子どもが喜びすぎてしまう場面もあったようですが、明らかに子どもが生き生きと変わりだしたということです。定着させるた

めに新宿せいが子ども園の藤森平司先生からのアドバイスもいただきました。現在でも交流は続き、更なるご指導を頂いております。

### 自主性・創造性・表現力を はぐくむ子どもたち

3. 4. 5歳児の保育が異年齢保育であることがいるまこども園の大きな特徴です。

あらゆる方面にアンテナを張り巡らし、興味関心の尽きない子どもたち。認定こども園となり教育時間に行われるカリキュラムは、そんな興味関心のかたまりの子どもたちに十分こたえるものです。環境設定には自ら選ぶ「選択制」、自分のレベルにあわせて「習熟度制」、そしてあらゆることを経験していく「順序制選択」などが基本にあります。訪問した



7月はちょうどプールの季節でした。いるまこども園では上記の方法によりカニチーム・カエルチーム・イルカチームにわかれていて、自分が選んだチームに入って泳ぎや水とのかかわりを楽しみます（ちなみにカニチームは水が苦手↓カエルチームは水が顔にかかるのが大丈夫↓イルカチームが水にかなり慣れているといったレベルでした）。

訪れた部屋でも異年齢の子どもたちが自分で選んだ活動に取り組んでいました。お絵描きに夢中の子やブロックで一生懸命乗り物を作る子がいます。絵本好きの子は絵本の世界に没頭しています。生き物に興味を持つ子は飼育箱を熱心にのぞき込んで見学の私に虫の説明をしてくれ



ました！

別の部屋では体操教室が行われており、指導者と子どもたちがマット遊びに興じていました。マット以外にも縄跳びや跳び箱、ボールなども使い、その子にあったカリキュラムで、どの子もしなやかで逞しい運動能力を身に着けます。将来を見据え英語にも興味を持ってもらうことを目的とした「えいごであそぼう」の時間もあります。

そして、こうした保育室の環境は「遊」「食」「寝」の空間に分かれています。こうすることで、子どもたちは主体的に活動し、意欲的に活動できる場となるからです。いるまこども園の保育・教育形態はこの「遊」「食」「寝」の「空間設定」が大きな特色です。

### 体験を通して 楽しく学ぶ食育

給食前に子どもたちがボードの前に集まり先生と何か作業を始めました。

今日の食材をあか・きいろ・みどりに仕分けしています。(それぞれ「ち・くほねになる」「エネルギーになる」「からだのちょうしをととのえる」と紹介されています)。



私たちは食べ物  
の知識や興味  
関心をこうし  
て学びます。

さらに見ていると年少クラスでしようか、可愛い子どもたちが給食の先生とお話ししながら食べる量をチェックしています。セミ・バ

イキング方式は自分の適量を知り、食べ物を大切にする気持ち学び、お友達と食べる楽しさを実感します。2歳児の仲良し同士は相手が揃うまできちんと待って一緒に楽しんでいるといったエピソードもお聞きしました。

農園での野菜・くだもの作り、それらを食事の一品にした給食。また、おやつ作りやクッキング保育(クッキー・サツマイモの茶巾搾り、米とぎや食材の下準備等)、さまざまな参加形式で食体験をしているいるまこども園の子どもたちは楽しみながら食育を学んでいます。



### 「いるまこども園は ひろびろ びりびり」

園庭も魅力あふれていました。緑の築山、それを取り囲む外国製の遊具は、子どもたちが思う存分体を動かし、遊びを満喫できる広々

とした環境です。花二面の園庭はこども園を想像させる美しさです。いるまこども園の子どもたちはこの素晴らしい環境で個性をはぐくみ、自主自立の精神を学んでいきます。

コロナ禍の自粛期間中にも自分たちの保育を振り返る機会を設け、改めて保育士の使命を考えました。そして休んでいる子に「いのほり」制作を郵送したり、YouTubeで手遊びを配信したりするなど様々な試みも行いました。東京にも姉妹園を持つこの園は、これからも狭山の自然豊かなこの地から更なる発信を続けていくことと思います。先生方子どもさんたち当日のご対応ありがとうございました！

(広報部)



## 特集：コロナに負けるな!!

新型コロナウイルスが日常保育にも影響を及ぼしています。みなさんの園でもたいへんな思いをされているのではありませんか。そんな中でも子どもたちの元気な姿は救いです。

今号からコロナ禍でも負けずに保育を行う会員園の様子を紹介していきます。みなさんの園の情報もぜひお寄せください。お待ちしております!!

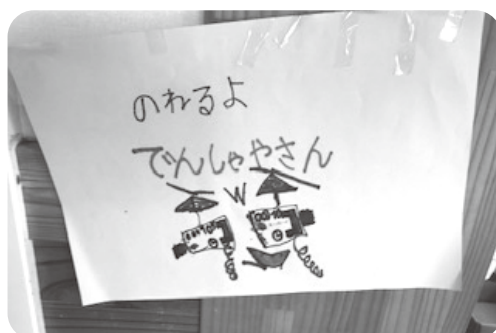
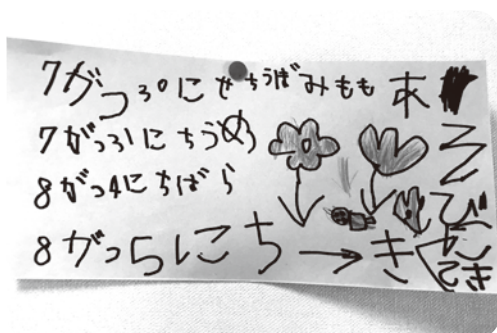
(広報部)

### 「おまつり」は感染対策をしながらも大盛況

例年、公園で大人達にまじって行う園行事「七夕夜店市」が中止となり、年長児が園内で行う「おまつり」企画となりました。何もかも一から自分たちで決めて作る「おまつり」に年長児は大張り切り、話し合いを重ねました。自分たちでやりたいという意欲から始まった店づくりはコロナ禍中の大傑作といえます。指示待ちで意欲的に取り組めなかった子も自分たちで話し合いを重ねていく中で、ひらめき!ときめき!輝き!を見せてくれました。

恒例の保育に転換を迫られて「ならばどうしよう」と悩むのはしんどくもありますが、新たな楽しみや期待感を得ることができ、何より「もっと良いものを考える」という貴重な機会になりました。

(戸田市 きざわ保育園)



## 生活・行事も一工夫

対策として密を避けてのお昼寝。通常保育時の2倍のスペースを使って寝ています(①)。お昼寝の部屋にあった机をランチルームと多目的室に運び入れ、お絵描きや工作などの活動。ここでも間隔をとるようにしました(②)。給食も広い部屋を使い、間隔をあけて食べています(③)。例年の夏の「親子まつり」は中止し、子どもだけで行った「こどもまつり」。部屋ごとにお店やさん(ゲーム、金魚すくい、お菓子屋等)を作り、好きなところをじゅんぐりまわりました。いつもとは違うおまつりとなりましたが、子どもたちはとても楽しかった!!と満足そうに親たちに話していました(④⑤)。

(加須市 加須保育園)



## コロナも暑さもなんのその

わが園の場合ですが、まず給食時の対策として食べる時、向かい合わせを避けて座るようにしました(①)。そして触って遊ぶ玩具についてはアルコール消毒するようにしています(②)。みんなで使っている遊具についても次亜塩素酸殺菌をするようにしました(③)。

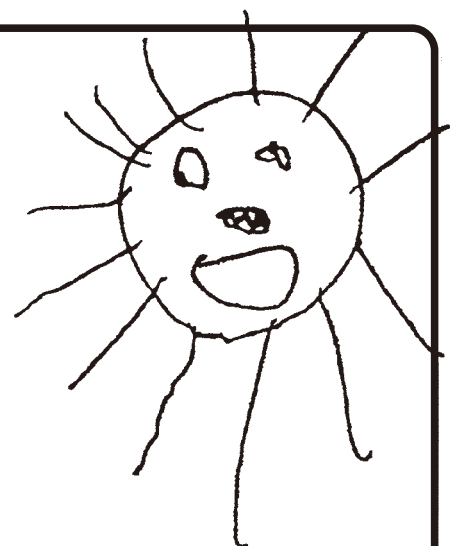
感染症対策をしながらの保育が必要となっていますが、保育室前に植物を育てグリーンカーテンにして涼しさも確保(④)、暑さ対策もしながらこのコロナ禍の夏を乗り切りました!!

(行田市 太田保育園)



事務局 (一社)埼玉県私立保育園連盟  
〒363-0015 桶川市南2-7-13 桶川中央マンション2F  
TEL 048(772)8623  
FAX 048(772)8635

# 園および園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。  
(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、  
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する  
各種保険を取り扱っております。

## ほいくのほけん

「園賠償責任保険」  
「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」  
「特別保育事業賠償責任保険」  
など、園経営におけるリスクに関する保険を  
ラインナップしています。また、それらを総合的に  
補償するセットプランもご用意しております。

## 園児総合保障 共済制度

園児を24時間補償する共済制度  
(総合生活保険(こども総合補償))です。  
団体契約による割引の適用で割安な掛金で  
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。  
ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

〈連絡先〉 (公社)全国私立保育園連盟指定  
東京海上日動火災保険株式会社代理店

## 有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内  
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉  
東京海上日動火災保険株式会社  
担当課：公務第二部 文教公務室  
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害  
保健特約付帯傷害保険・総合生活保険(こども総合補償)の概要について  
ご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパフレットをご覧ください。  
詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする  
保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険  
会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要  
事項説明書」をよくお読みください。

